



The Y's MEN's CLUB of



もりおか



<VOL97 2016.1>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長 Wichian Boonmapajorn  
アジア地域会長 Edward K.W.Ong  
東日本区理事 渡辺 隆  
北東部長 中川 典幸  
もりおかクラブ会長 大関 靖二

「信念のあるミッション」  
「愛をもって奉仕しよう」  
「原点に立って、未来へステップ」  
「今と原点を融合して未来へ」  
「明るく、楽しく、いきいきと、生かそう経験、感謝の心で」

今月の聖句 マタイによる福音書11章28節

 「疲れたもの、重荷を負うものは、だれでも私のもとに来なさい。休ませてあげよう。」

会長 大関 靖二  
副会長 井上 修三  
書記 濱塚 有史  
会計 大関 靖二  
担当主事 小川 嘉文  
メネット 井上 優子

平成28年2月例会のご案内  
日時 平成28年2月13日(第3土曜日)午後6時30分  
場所 きのえね 会費2,000円  
卓話 調整中  
第二例会 平成28年2月18日(第3金曜日) 18時~  
場所 そばDe10割

大関会長巻頭挨拶

新しい年2016年が始まりました。明けましておめでとうございます。今年はずいぶん暖冬との事でしたが、やはり雪は降りました。冬は冬らしくが一番ですね。朝夕の犬の散歩時、雪の岩手山、周囲は白一色、寒さ加減気持ちいいです。(しかし、早くゴルフがしたい。)



大関会長

1月15日に「そば打ち例会を行いました。ゲストの方も含め16名が参加し、そば粉3Kg(約30人分)があっという間に完食されました。ゲストの方やYMCAリーダーにもそば打ち体験をしてもらい楽しい例会となりました。これからもゲストの方に多く参加してもらい、これをきっかけにして入会してもらえればと思っています。継続していきたいですね。

2015~2016年も半分が過ぎました。目標にあげている各項目について改めて認識してもらい達成に向けて努力していきましょう。来月になりますが、今年9月にはもりおかクラブ10周年記念大会を企画しています。1~3月中に基本的な計画をし、

4月より計画を実行に移していきましょう。寒さが厳しくなっています、体調管理には充分注意し、元気に冬を乗り越えましょう。

1月第一例会のご報告

平成28年1月16日、きのえね本店にて、第一例会を行いました。大関、長岡、井上、井上優子、古澤、三上、濱塚、小川(敬称を省略) ゲストはいませんでした。新年一回目の例会を行いました。16日ともなれば、もうお正月気分でもないし、前日第二例会のそば打ちを行ったこともあり、2日連続のワイズ活動となりました。この日、濱塚、長岡は宮古へ餅つき大会に出席してちょぴり遅刻をしてしまいました。

今年度も後半に入り、大関会長は次年度の準備に本気モードで突入したようです。10周年記念の冊子作成のひな形の創作、内容の検討、北東部会と10周年記念例会の企画とフル回転を始めました。頭がさがります、ありがとうございます。東日本区大会の企画を完璧に行った大関会長ですから、今回も大船に乗った気分です。みなさん、大関会長にストレスをかけないよう一緒に頑張っていきましょう。ご協力をお願いいたします。

## 第二例会「そば打ち試食例会」のご報告

新年初めての顔合わせは2016年1月15日でした。まだ第一例会も行っていないのにいきなり第二例会のそば打ち例会になってしまうところが、もりおかクラブらしい。好きです。

さて、昨年体験農場で収穫したそば粉を今日は楽しく打って食



佐藤薫さん 堤順一さん

します。ゲストは、農場で毎回顔を合わせて作業しているうちに知り合いになった、佐藤薫さん、井上メンのお付き合いかから、堤順一さん、そして、盛岡YMCAのリーダー達。武田 悠

(ゴリナ)、昆由理絵(ゆりぼー)川口奈恵(チョップ)、安久津里彩(あさり)伊藤穂南(ジョア)以上7名。クラブからは、大関、大関節子、井上、古澤、中原、三上、濱塚、小川、長岡、以上9名。これは楽しいそば打ちになりそうだ。

まずはリーダー達、大関さんの指導のもと作業開始です。「え



細く切りたいんだけどな～

～手につく～」当たり前だ、100%そば粉です。「こんなにぽろぽろでいいの？」いいんです、これからまとまるよ。わいわいがやがや、たぶん子供のころ

やった泥団子作りに似ているのかな？まとまってきたよ、さあ、練りこんでこしを出そう、これからは力作業。200回はこねるよ、と言われ「力が続くかな？」交代すればいいのさ。こねあがり、さあここからが楽しい面棒を使つての伸ばし作業に突入だ。伸び

てきたよ、期待を裏切らない淵の割れが、やれリアス海岸だの、フィヨルドだの、ひよこりひょうたん島になるだのと、水分と、練りこみが毎回うまくいかず淵が割れます。気にしない大丈夫。たたくで小さくして切りの作業です。どれだけ細く切れるかが勝負さ。お手本の細い麺をみていないため、うまく切れてる？上手？だめだよそれじゃうどんだよ。うどんでもいいさ、きっとおいしいさ。切れました。大関メネットがゆでてくれます、もうすぐ食べられるよ。ゆであがりの麺を冷水で絞めて、「さあ召し上がれ」ざるに殺到して試食です。「ん、おいしい」100%そば粉の日本そば、香りと歯ごたえがいい、初めてのそば打ち体験のざるそば、これは絶品に仕上がりました。

佐藤さんもそば打ち開始です。彼の腕前は私がよく知っています。何回か、岩洞湖で一緒に打っています。さすがに手慣れたもの、順調に作業を進めて伸ばしの時、「残念割れてきた」水の調整が毎回むずかしいとの一言、しかしここからまさに本領発揮、こ、これはおそばだ。細い日本そばがどんどん切りあがっていきます。おそばやさんのおそばだね。一同感動です。試食での越越しのよさも絶品に仕上がりました。3人目のプロ誕生の瞬間でした。



大成功、おいしかったね。来年も楽しみだ。まずは畑からですね

## 宮古を愛する青少年の育成事業 宮古日出町仮設住宅へ 餅つきとハンドマッサージ集会

1月16日、宮古の日出町仮設住宅へいってきました。お餅の振る舞いと、高校生ボランティアによるハンドマッサージのご奉仕です。

盛岡YMCAからは、濱塚、長岡、家村、阿久津、鬼柳、澤野、三浦、山崎。宮古商業高校から、JRCの久保田寿美さん、中村汀さん、三ヶ尻彩乃さん、金丸凌さん、齋藤麻衣さん、佐々木烈弥さん、君澤ひかりさん、山根あかりさん、吉田繭さん、中野先生。



こうやってタイミングが大事

手順をメモ、写真を撮って、最後は杵をふるって餅つき体験。いい機会でした。つき上がった餅は、仮設のおばさん方があんこ、

盛岡に比べれば少しは暖かいといっても真冬です。外での餅つきは少しつらい。とはいえ、餅つきの面々は元気いっぱい。地元のおじいさん、おばあさんの指導の元、蒸かした餅米をうすに移してこねて、こねて餅つき開始。冬休みの小学生が、一連の手順の取材です。宿題の一つだそう。丁寧に餅つきの

きな粉、磯部巻に仕上げてください、一同おいしく食べました。

食事が終わった後は、女子高生たちのハンドマッサージのサービス開始です。一人に二人ついて、うで一本ずつ担当してマッサージです。オイルをぬって、すべるようにもみほぐしていきます。プロのマッサージの講習を受けたとかで、実は長岡もやってもらいました。丸たんぼうのような長岡の腕を小さな手が滑り下りていきます。心がこもったマッサージに腕も心もほっかほか。みごとな腕前です。仮設のみなさんもたいへん喜んでくれました。訪問のご奉仕とはいえ、満足してもらうために一生懸命学習してきたのでしょね、それを思うとこの子らの努力には頭がさがります。ありがとうね、君たちのような若者がいると宮古は将来明るいと思います。



きもちよかった～

長岡でれでれ～

宮古は大好きです。宮古の人柄、がんばっている姿、どれをとっても大好きです。神様はなんでこんな宮古の人たちに試練をあたえたのでしょうか。震災からもうすぐ5年、より明るい未来に向かっていきましょう。またおじゃまいたしますね。



# 「フリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

1月の出席率	8/12	66 %	ゲスト7名	ビジター2名		
メーキャップ	1	名		1月切手	15 g	累計 145 g
1月のにこにこ		円	累計 0 円	1月プルタブ	130 g	累計 4,280 g
1月 石鹸	0	円	累計 7,179 円	りんご	11,000 円	累計 円
1月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	20,659 円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会長兼会計 大関 靖二

1月のハッピーバースディ 3日 濱塚有史メン 3日 中原真澄メン 16日 石渡隆司メン 16日 花松行雄メン  
おめでとうございます。

## 宮古では高校生が活躍しています！

震災が発生してから、5年の歳月が経過しようとしています。盛岡YMCA宮古ボランティアセンターは、「宮古を愛する青少年の育成事業」として、小学生を対象とした野外活動、体育教室を行っています。地元の高校生がボランティアとして活躍してくれています。震災当時は、小学生だった高校生。大学生のリーダーや社会人のボランティア等、YMCAの活動を通して様々な人と出会う中で、多くの気づきを得て成長しています。

### ★野外活動(月例野外、サマー、スキーキャンプ)



8月サマーキャンプ 11名の高校生がボランティアとして参加

- 7月5日 閉伊川源流を探る。 12名 高校生1名
- 8月4、6日 サマーキャンプ分枝に泊まろう 39名高校生11名
- 8月 29日 マリンスポーツ 17名 高校生3名
- 9月 6日 ヤマメの放流体験 11名 高校生4名
- 12月 6日 焼き芋&クリスマスリース 13名 高校生4名
- 1月4、7日 宮古少年少女スキーキャンプ 40名 高校生10名



宮古少年・少女スキーキャンプ

## ★水泳教室



カエルのかぶり物がかわいいです。

8月8日、12日 津軽石小学校夏季水泳教室

37名 高校生7名

### ★街中復興市(益金は、YMCA国際協力募金、常総市洪水被災地復興支援活動に送られました。)



被災地の人間は被災者にやさしくなれます。がんばれネパール、常総市

6月13、14日 宮古街中復興市 高校生4名

7月26日 魚菜市场味覚祭り 高校生5名

ネパール地震被災地支援

10月11、12日 宮古街中復興市

常総市洪水被災地復興支援

### ★ その他 高校生を対象としたグループワーク

11月21日、盛岡YMCA大学生リーダーが高校生にたいしてリーダートレーニングを行いました。11名の高校生が参加





## 真冬の盛岡をたのしんじゃお～

真冬です、盛岡です。冬のイベントが目白押し。冬ならではの盛岡を楽しんじゃいましょう。

49市 いわて雪まつり  
[宇石町・小岩井農場] Iwate snow festival 2016年1月30日(土)～2月7日(日) [協賛社様一覧](#)  
HOME | 概要 | イベント | アクセス | 周辺観光 | お問い合わせ | パンフタダウンロード



まずは、**1月30日から開催の小岩井雪祭り**。なんと今年は雪不足で、開催以来、初めて大型雪像の作成をあきらめて、小型の雪像とステージ、かまくらなど。なんとめさびしいお祭りになってしまうようです。しかし、そのぶん企画を充実させて、来場者をがっかりさせないと、雫石町の実行委員会はがんばっています。泥の中に雪像がたっていたという記憶はあります。今年のように周辺一帯にも雪がなく雪像が作れなかったというのは本当に初めてです。1月30日から2月7日まで、小岩井農場まきば園です。暖かくしてお出かけください。

### 編集後記

古澤さ～ん、原稿どうなった？こんなにスペースが余っちゃったよ。久々の長文編集後記になりそうです。

今年は、もりおかクラブにとってははじめの年になります。長岡が2016～2017年度、北東部長になります。それに伴い盛岡での北東部会開催、さらにもりおかクラブ10周年記念も同時に開催予定です。現会長の大関さんが10周年記念の企画を具体的に考えてくれています。東日本区大会のあと、体調を崩してしまって、大関さんも、私たちがずいぶん心が沈んでしまいましたので、今回はあまり根を詰めずにいきましょう。力を合わせてゆくりとです。

1月15日と16日の二日間で、記事が3つできました。なんとも効率がよかったですね。餅つきとハンドマッサージ集会の終わりの会で、参加してくれた高校生に、「震災のときどうだった」というお話をききました。みんなそれぞれ、大変な体験を聞かしてもらいましたが、ボランティアセンターのかつお君が、ずいぶん落ち込んでいました。彼にとって震災の被害は、忘れてしまいたいくらいつらい経験だったのかもしれない。

そば打ちのゲスト、佐藤薫さんは一家で体験農場のそば栽培を行っています。初めて会った頃はまだお子さんも小さかったのですが、ずいぶんと大きくなりました。そして職業が信漁連といって、漁協の金融部門にお勤めでした。岩手県の漁協とは、わかしお石齋を通して付き合いがあり、今回初めて佐藤さんが漁協関係者と知り、なんとも世間は狭いなと感じました。

今年の冬は、変な冬です。初積雪から、根雪になると思いきやすべて解けて無くなり、暖かいクリスマス、年越し、去年の半分も雪が無い。先週の西日本を襲った強烈な寒波と大雪も盛岡にはなにも関係なし。むしろ、雪が解けてアスファルトが乾き、なん

## もりおか雪あかり2016開催！

2月11日から13日まで盛岡市内10か所で開催。スノーキャンドル、雪像、氷像、盛岡市内の夜が明りて浮かびあがります。2月13日の最終日はたぶんクラブの例会の日です。例会の前にみんなで行ってみませんか。私と一緒に取材しましょう。2月のブリテン記事になればいいですね。



メイン会場は盛岡城跡公園、もりおか歴史文化館庭園です。今年で9回目になるイベントですが、震災から立ち上がる応援メッセージのキャンドルがたくさん飾られること

でしょう。我が家でもこの間、玄関先にスノーキャンドルを飾り、楽しんでおります。



とも走りやすい道路に変わっています。雪かきもほんの少しで腰にやさしい冬です。これで冬が終わると思っていませんが、これまではずいぶん楽をさせてもらっています。寒波に襲われ、断水の被害や、けがをした方々にはこころよりお見舞い申しあげます。

私はワカサギ釣りはしませんが、周りの釣りきち達は岩洞湖の結氷が遅れて、釣りができないと肩を落としております。これも暖冬の象徴でしょう。本州一寒い藪川の気温で、岩洞湖が凍らないなんてことは記憶にはありません。エルニーニョ恐るべしです。やはり二酸化炭素の排出が原因でしょうか？石油が1バレル100ドルを超えたあたり、福島原発が事故を起こしたころ、日本はエネルギー政策の転換時期を逃したのかもしれない。脱石油、今からでも遅くはありません。石油にたよらないエネルギー革命が日本から起きることを期待しています。革命的な蓄電池をぜひ日本で発明してほしいものです。30万人の都市が3日間暮らせる電力をためられる蓄電池があれば、再生エネルギーの利用がどんどん進み、原発がいらないようになるのではないのでしょうか。期待しております。

それでは皆様、また来月お会いいたしましょう。 長岡



わすれてはいけませんね、例会集合写真です。